

平成27年度 事業報告書・収支決算書

「元気でにぎわいのある県都ふくしま」を目指して
～福島再生の始動～

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日

総括的概要

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から5年目が経過し、住宅除染も着実に進展するなど、福島市は復興・再生に向けて着実に進んでいるが、一方で人口減少に伴う労働力不足、顧客や受注の減少、後継者問題など課題も多く、今後の先行きについては未だ不透明であると言わざるを得ない。

このような中、当所では事業の基本理念である「元気でにぎわいのある県都ふくしまを目指して」を継続しながら、これまで以上に“現場主義”に徹し、着実に具体的な一歩を踏み出すべく、「福島再生への始動」をテーマとして掲げ各種事業を展開した。

事業実施に当たっては、従来からの重点事項である「活力ある福島の創造（地域経済の活性化）」、「会員事業所の発展（企業の安定・成長）」、「魅力ある商工会議所（商工会議所の活性化）」を3つの柱として位置づけるとともに、特に本年度は、「復興・再生の推進」「にぎわい・まちづくりの推進」「経営支援体制の充実・強化」を最重点事業とし、委員会及び各部会、女性会・青年部等との協働により、地域経済発展を推進すべく産業振興に向けた各種事業を行ったところである。

平成27年度の主要事業について、復興・再生の推進としては「福島市の復興・再生に関する要望」を始め、「原子力損害賠償の完全実施に向けた対応」や「東北中央自動車道 相馬～福島～米沢間の建設促進」、「保健医療従事者の新たな養成機関の中心市街地への整備」など、“福島再生”と“健康をキーワードにしたまちづくり”という視点から活発に実施した。

また、にぎわい・まちづくりの推進としては、平成27年2月内閣総理大臣より認定を受けた「第2期福島市中心市街地活性化基本計画」に沿った各種事業を推進し、福島駅前通りリニューアル整備事業への協力支援、大原総合病院のリニューアルに向けた調査支援、県庁通り商店街や周辺商店街の活性化に向けた事業など活発に展開した。

また、観光・交流事業の推進としては、ふくしま DC と連動した誘客事業である「ランチで食うポン事業」や「ようこそふくしまうまいもの店&湯けむり紀行」の作成配布による消費拡大、観光資源の魅力発信と福島わらじまつりの国内外イベント参画による元気アピール、福島ユナイテッド FC への支援等スポーツを通じた交流人口拡大事業など、多岐にわたる分野で実効性を高めながら推進することができた。

また、地域活性化策としては、「地域共通商品券発行等事業（笑顔満開プレミアム20）」（発行総額19億2,000万円）を発行し、地元商店街の活性化を図るとともに、消費拡大による経済活性化に繋げた。

経営支援体制の充実・強化については、従来の経営相談の他、経営計画策定の支援として、小規模事業者持続化補助金、ものづくり・商業・サービス革新補助金の申請支援、金融支援としてマルケイ資金制度の活用による経営安定化や、消費税転嫁対策窓口相談等事業における個別相談など、企業の抱える経営課題へ寄り添った伴走型支援により、経営改善普及事業の充実と強化を図った。

また、ビジネス拡大を図る事業の実施や、部会・委員会による視察会・勉強会等事業を活発に展開し、福島の再生・復興に向けて企業の発展と地域経済発展を図るための各種事業を積極的に実施した。

総括概要

主要事業実施概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙 役員・議員 の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I 活力ある 福島の創造

VII 事業 II 会員事業所 の発展

VII 事業 III 魅力ある 商工会議所

VII 事業 経営改善普 及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入 及び連携

XI その他の 会議等への 参加

1 組 織

会員数は4期連続で純増となり、新規加入222事業所（昨年度:144）、退会76事業所（昨年度:103）となり、安定した組織運営を達成することが出来た。平成29年度の創立100周年に向け、議員・会員・職員が一丸となって4,000会員を目指す「4000会員キャンペーン」による成果に加え、地域共通商品券事業や各種イベントの展開、全職員による会員巡回などを通じて当所事業への理解が進展していると言える。

また、本年度は議員が主体となり「創立100周年記念事業実行委員会」を設置し、各種事業の検討を進めており、更なる組織安定化と運営基盤の強化を図って参るところである。

今後も会員事業所に寄り添った経営支援の強化や会員サービス（情報提供、福利厚生）の充実に努め、組織率向上を図る。

2 財 政

会費収入については、4000会員キャンペーンによる会員増強が図られたため、前年対比2,270千円増の89,215千円となった。

共済手数料収入については、BWC キャンペーン等の効果により、対前年比5,466千円増の93,127千円となり、収入全体としては安定した自主財源が確保できた。

県、市からの補助金は、予算通りとなったほか、受託事業は、共通商品券事業（387,504千円）などにより、例年より大幅増の447,807千円となった。

支出の事業費についてみると、積極的に事業を実施したことにより、一般会計でみると当初予算を2,196千円上回る500,160千円を計上した。

人件費については、県等の補助事業を活用することにより財源の確保を図るとともに、管理費についても事務の効率化と経費の削減に努め、支出の抑制を図った。

積立金については、創立100周年に向けた記念行事のための積立金など所要の積み立てを行うとともに、会員事業所に対する助成等を行う「ふるさと元気支援基金」を新設した。

次年度の繰越金となる一般会計収支剰余金は36,999千円となり、今後の環境変化や不測の事態に対応し、必要な事業を実施できる健全な財政運営を達成することができた。

3 事 業

東日本大震災の発生から5年目となる本年度は、事業の基本理念である「元気でにぎわいのある県都ふくしまを目指して」を継続しながら、これまで以上に“現場主義”に徹し着実に具体的な一歩を踏み出すべく、「福島再生への始動」をテーマとして掲げ展開した。

事業実施に当たっては、従来からの重点事項である「活力ある福島の創造（地域経済の活性化）」、「会員事業所の発展（企業の安定・成長）」、「魅力ある商工会議所（商工会議所の活性化）」を3つを柱として位置づけ、特に本年度は、「復興・再生の推進」「にぎわい・まちづくりの推進」「経営支援体制の充実・強化」を最重点事業として、6つの委員会及び各部会活動、並びに女性会・青年部活動と一体となり、地域経済復興と産業振興を推進すべく事業を行ったところである。

各事業の主な実施内容は以下のとおりである。

主要事業実施概要

I 活力ある福島の創造

I A 政策提言・要望活動の推進（P52～61）

復興・再生に関する政策提言及び要望活動を行った。

[復興・再生に関する要望]

- ・福島市の復興・再生に向けて経済環境改善及び地域振興を促進させるための要望を積極的に行った。

[原子力災害に関する要望]

- ・原子力損害賠償の完全実施に向けた確実な対応について、東京電力(株)に対して要望を行った。

[復興のための高速自動車道・幹線道路の整備促進及び建設促進要望]

- ・東北中央自動車道 相馬～福島～米沢間の建設促進、並びに一般国道13号福島西道路南伸事業の優先的な財源確保と早期供用及び北伸の新規事業化に向けての要望を行った。

[復興再生に向けた健康をキーワードにしたまちづくりに関する要望]

- ・理学療法士、作業療法士、診療放射線技師、臨床検査技師の大学課程の整備について、福島市中心市街地への設置について要望を行った。

[農業分野における人材育成に関する要望]

- ・福島大学の農学系人材養成組織の開学に関する福島市内への設置の要望を行った。

I B 地域開発事業の推進（P62～63）

地域開発を推進するため、各種事業に取り組んだ。

[福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会による地域開発の促進]

- ・3市の相互地域開発並びに経済発展を図るため、3会議所合同による懇談会をはじめ、東北中央自動車道の建設促進についての要望を行った。

[福島西道路の南伸促進]

- ・一般国道13号福島西道路については、第Ⅱ期工事として南伸促進について事業の継続的かつ着実な進展が行われるよう要望を行った。

I C 復興・再生の推進（P64～66）

復興に向けて将来の都市形成の研究や、他地域の視察会等を行い地域発展のための先進的な取り組み等についての研究を行った。

[福島市の将来を見据えた都市形成の検討]

- ・福島市における都市開発や土地利用の現状について理解を深め、将来を見据えた都市形成について研究を行った。

[視察会・交流会の実施]

- ・他地域の先進事例の視察会及び交流会を開催し、経済発展・地域振興に向けた取り組み等について理解を深めた。

総括概要

主要事業
実施概要

施策体系

I 定款・
規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善普
及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
及び連携

XI その他の
会議等への
参加

I D にぎわい・まちづくりの推進（P67～74）

中心市街地活性化基本計画に沿った各種事業を展開するとともに、各種イベントとの融合によりにぎわいを創出した。

[中心市街地活性化の推進]

- ・大原総合病院のリニューアルに向けた調査及び県庁通り商店街のまちづくりに向けた支援、福島駅前通りのリニューアルに向けた支援、周辺商店街の活性化に関する事業など、中心市街地活性化への取り組みを推進した。

[街なか情報の発信]

- ・「まちなかイベントカレンダー」による情報発信の充実を図り、賑わい創出による中心市街地活性化を推進した。

[各種イベントの実施・支援・協力]

- ・地域共通商品券発行等事業「笑顔満開プレミアム20」の実施により、消費者の購買意欲の喚起と地域経済の復興・再生を推進した。
- ・商店街イベントとして「ふくしま花のまちフェスティバル2015」や「福島駅前元気プロジェクト（ハルフェス、ナツフェス、アキフェス、フユフェス）」や「ハロウィンふくしま」などを実施し、中心部の賑わいづくりに積極的に取り組んだ。

I E 観光・交流の推進（P75～81）

ふくしま DC の実施に当たり連動した各種事業を展開し、福島の魅力発信と交流人口拡大の取り組みを促進させた。

[ふくしま DC に連動した誘客事業の実施及び支援]

- ・ふくしま DC の効果を高めるため、優待食事券事業「2015春・ランチで食うポン」や、飲食店・宿泊施設ガイド「2016ようこそふくしまうまいもの店&湯けむり紀行」を作成し、誘客による市内飲食店・宿泊施設の活性化を図った。

[地域資源を活用した観光素材等の情報発信]

- ・福島市の美しい風景写真をアマチュアカメラマンより提供していただき Web 上に展示する「ふくしまフォトライブラリー」を充実させ、福島の自然の素晴らしさを全国に発信した。なお、フォトライブラリーの優秀作品を当所のオリジナルカレンダーへ掲載し魅力を発信した。

[観光振興によるふくしまの復興を図るための各種関連事業への協力]

- ・震災復興イベントとして実施されている「東北六魂祭2015秋田」やミラノ万博で開催された「ジャパンデー」においてわらじまつりが参加し、福島の元気を国内外に発信した。

[スポーツイベントを通じた交流人口拡大への支援・協力]

- ・J2 J1昇格を目指す「福島ユナイテッドFC」への支援協力を始め、「あづま荒川クロスカントリー大会」、「ふくしま吾妻荒川花見山ツアーデーマーチ」等への支援を行い、スポーツを通じた地域振興を推進した。

[物産の振興]

- ・東京丸の内で開催された輪島物産展へ出展し、県産品の販売や観光PRなど活発に行い、風評被害の払拭を図った。

[国際交流の推進]

- ・「ふくしま台湾友好協会」などとの交流を促進し、本県の観光資源の発信を行った。

I F 地域の祭り・伝統文化の興隆 (P 82～83)

福島わらじまつりの実施、及びふくしま花火大会、山車フェスティバル、踊屋台の復活支援など、地域の祭りを盛り上げることで地域活力の創出と伝統文化の興隆を図った。

II 会員事業所の発展

II A 小規模企業振興基本法、改正小規模支援法に対応した中小企業経営発達支援事業の推進 (P 120～126)

小規模企業の持続的な発展と事業運営の支援強化を図ることを目的として平成26年6月20日に施行された「小規模企業振興基本法」に則り、中小企業に寄り添った経営支援事業の充実・強化を図った。

II B 相談支援体制の充実・強化 (P 120～126)

相談支援体制の充実と強化を図り、事業所の経営課題の改善と解決に努めた。

[資金繰り・経営相談]

- ・マル経資金融資を行うなど会員事業所の資金繰りに貢献した。
- ・経営支援体制を強化し、会員からの経営相談8,814件に対応した。
- ・経済産業省が実施した「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」を活用し、積極的な専門家派遣とフォローアップを図った。
- ・銀行取引、マーケティングなど広範な分野にわたる経営支援セミナーを開催して会員事業所を支援した。

[消費税転嫁対策窓口相談等事業]

- ・平成26年4月1日に8%、平成29年4月に10%への引上げが予定される消費税の対策として相談窓口を設置し、円滑かつ適正な価格転嫁に向けての相談支援を行った。
- 併せて会報誌やセミナー等を通じて、価格転嫁のポイントなど情報提供を行った。

[記帳・決算・確定申告]

- ・会員企業からの相談に対応し、指導助言による経理業務のサポートに努めた。
- また、記帳の電子化を進め、1件1件丁寧な指導を行った。

II C 経営革新の推進 (P 120～126)

「経営革新等支援機関」として経営革新計画の策定支援及び新分野進出や事業多角化等への支援を行った。

[経営発達支援計画の申請]

- ・平成26年6月に施行された小規模企業振興基本法に則り、事業所に寄り添った支援体制を構築するとともに、伴走型支援の充実を図るため「経営発達支援計画」の認定申請を行った。

[小規模事業者持続化補助金申請の支援]

- ・小規模事業者持続化補助金（小規模事業者が商工会議所等の助言を受けて経営計画を策定し、その計画に沿って販路開拓に取り組む事業の費用の3分の2を補助）について、

総括概要

主要事業
実施概要

施策体系

I 定款・
規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善普
及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
及び連携

XI その他の
会議等への
参加

会員に対し積極的な周知を行い、相談・申請に積極的に対応した。

(説明会参加：88事業所、申請：48事業所、採択：24事業所)

[ものづくり・商業・サービス革新補助金申請の支援]

- ・試作品・新サービス開発、設備投資支援を目的とした、ものづくり・商業・サービス革新補助金について、会員に対し積極的な周知を行い、相談申請に積極的に対応した。

II D 事業再生・事業承継の支援 (P 120~126)

経営の不安定な中小企業に対する健全経営を図るための経営安定特別相談事業や、事業承継に関する課題について、中小企業小規模事業者ワンストップ総合支援事業等専門家派遣事業を活用し個別相談に対応するなど、会員事業所に寄り添った支援を行った。

II E 創業の推進 (P 126~128)

厳しい経済環境が続く中で、経済活性化と雇用機会の創出を目的とした創業支援事業を積極的に実施した。

[地域創業促進支援事業(創業スクール)の実施]

- ・創業予定者・独立開業に興味のある方を対象とし、ビジネスプラン作成や経営ノウハウを学ぶ「福島創業スクール」を5日間、17名の参加者のもと開催した。

[創業支援セミナー]

- ・創業支援セミナーを開催し、ビジネスプランの作成方法や開業資金調達に関する支援等を実施した。
また、創業体験者を講師に招き、体験談を通して創業の心構えなどを学んで頂いた。

[創業個別相談]

- ・創業希望者の相談に対し、販売計画や資金繰り等の指導、創業計画書の作成等の相談支援を行った。

II F ビジネス拡大の推進 (P 85~89)

新分野進出や新たな交流機会のチャンスを提供することにより、ビジネスの拡大に向けた事業を実施した。

[医産連携事業の推進]

- ・「福島市医産連携研究会」事業として、事業化推進分科会の開催、医療機器関係施設視察会、「メディカルクリエーションふくしま2015」への出展、会員企業ガイドブックの作製・配布など積極的な事業展開を行った。

[ビジネスチャンスの提供]

- ・会員交流会・商談会、先進企業見学会、新入会員セミナーを開催し、ビジネスチャンスに繋げる機会を提供した。

[地域復興マッチング「結の場」事業]

- ・復興庁と当所が平成25年度より実施する「結の場」事業で提案を頂いた支援メニューに基づき、福島市内の企業のビジネス拡大を目的としたセミナーを開催し、多くの方にご参加を頂いた。

[健康経営の普及を目指した相互連携促進]

- ・従業員の健康が事業所そのものの健全な経営の維持に繋がる「健康経営」について、関

係機関との連携により普及に努め推進を図った。

II G 雇用対策・人材育成事業の推進（P 90～99）

雇用創出と会員事業所の戦力を高めるために各種事業を展開するとともに、各種検定試験の実施により商工技術の向上に努めた。

[求人・求職間のミスマッチ解消に関する取り組み]

- ・高校と企業の連携強化と相互理解を深めるため、企業人事担当者と高校就職担当者との懇談会、企業見学会を実施した。

[雇用創出事業の推進]

- ・ジョブカード事業並びに福島市雇用促進サポート事業により、直接的な雇用促進活動を進めた。

[人材育成・経営課題に関するセミナーの実施]

- ・福島市の商業力の底上げを図るため、効果的な販促方法や経営手法について習得する「商売繁盛塾」を開催した。
- ・工業系の基礎技術のマスターと技術の伝承を図ることを目的に、産官学連携事業「県北技塾」を開催した。
- ・「新入社員セミナー」を開催し、人材育成支援を行った。

[各種検定試験による商工技術の向上]

- ・簿記、国際会計（BATIC）、販売士、珠算、パソコン、福祉住環境コーディネーター、ビジネス実務法務、カラーコーディネーター、環境社会（eco）、ビジネスマネジャーなどの諸分野に関する検定試験を施行し、商工技術の向上に寄与した。

II H 各種調査・情報提供（P 100～102）

LOBO（早期景気観測）調査や中小企業景況調査、年末年始商戦アンケートなど各種調査を実施し経済情勢の把握に努めるとともに、所報等により会員への情報提供を積極的に実施した。

II I 業種別振興事業の推進（P 103）

業種別部会を活発に開催し振興事業を推進した。

II J 福利厚生の充実（P 104～106）

会員事業所の福利厚生を整備と充実に寄与するため、生命共済制度、特定退職金共済制度、個人保険（商工会議所福祉制度）の普及・拡大を推進した。

[生命共済制度]

- ・県連統一キャンペーン等により加入者数（+151）、加入口数（+196）共に増加したが、加入事業所数は加入年齢超過等の影響により減少に転じた。（前年度比△7）
- ・個人保険は事業所数（+82）、加入者数（+107）が3期連続で純増となった。
- ・総じて、会員事業所の福利厚生とリスク対策水準の引き上げに貢献することができた。

[その他]

- ・生活習慣病健診、永年勤続従業員表彰を行い、会員事業所の健康管理や福利厚生の実現に寄与することができた。

総括概要

主要事業
実施概要

施策体系

I 定款・
規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善普
及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
及び連携

XI その他の
会議等への
参加

Ⅲ 魅力ある商工会議所

Ⅲ A 組織体制の強化（P107～113）

[創立100周年記念事業実行委員会の設置]

- 平成29年度創立100周年を迎えるに当たり、「創立100周年記念事業実行委員会」を設置した。「4000会員キャンペーン」を始め、各種事業を推進し、更なる組織の充実と運営基盤の強化を図る。

[会議の充実]

- 常議員会、議員懇話会等を活発に開催し、知見や情報を共有し商工会議所の組織体制と活動の強化を図った。

[女性会・青年部活動への支援]

- 地域の発展や活力創造に向けて積極的に事業を展開する女性会・青年部の活動に対し、運営支援を行うとともに、連携強化と各種事業の充実に向けた支援を行った。

Ⅲ B 運営基盤の強化（P114）

[会員数]

- 商工会議所の運営上で極めて重要な会員数が4期連続で純増を達成。3,891事業所（前年度比+146）となった。
- 新規加入は222事業所（前年度：144）、退会は76事業所（前年度：103）で、退会理由の78%が外部要因によるものだった。

[会員事業所の巡回訪問]

- 経営に関する各種相談や経営に役立つ情報を提供するため、全職員が全会員事業所（約3,800）を巡回訪問した。

Ⅲ C 事務局機能の強化（P114）

[資質向上]

- 経営支援に関する各種支援、実践的なマーケティング指導法、マルケイ資金を活用した経営改善法など、商工会議所の主要事業に係る様々な研修に職員を積極的に派遣し、業務能力の向上を図った。

Ⅲ D 情報収集力と発信力の強化（P115～118）

各職員が会員事業所への情報発信の強化を念頭に置き、それぞれの業務に取り組んだ。また、事業運営に効果的な情報については、セミナー・講演会・ヒアリングなどに積極的に参加し、収集した情報は職員会議等で共有化を図り、会員事業所への提供や相談対応等に活かした。

[発信情報の充実]

- 会報誌では、新たに専門家のコラムを掲載するなど内容の充実を図り、会員のためになる誌面づくりを強化した。
- 当所の使命と基本理念を会員事業所及び一般市民に分かりやすく伝えるため、地下歩道に広告を掲示し発信情報の充実を図った。

[ホームページの整備促進]

- 事業や催事ごとのバナーを都度作成し、情報発信とホームページの鮮度を高めることに努め、前年度より2万件以上アクセスが増加した。

[オリジナルカレンダーの作成]

- 当所では平成21年度よりオリジナルカレンダーを作成しており、平成27年度は「あなたの知らない福島風景がここにある～ふくしまの再発見～」をテーマに作成。更なる福島の復興に向けて、魅力ある福島の再認識に繋げることを目的とした。

総括概要

主要事業
実施概要

施策体系

I 定款・
規約等

II 組 織

III 議員選挙
役員・議員
の 選 任

IV 事 務 局

V 庶 務

VI 会 議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の 発 展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善普
及 事 業 他

VIII 登 録

IX 事務所等

X 団体加入
及び連携

XI その他の
会議等への
参 加

平成27年度 施策体系

施策 I

活力ある福島の創造 (地域経済の活性化)

IA 政策提言・要望活動の推進

- 1 商工会議所ネットワークの活用・強化による提言能力・実現力の向上
 - 1 日商・東北六県連・福島県連との連携
 - ① 日本商工会議所との連携
 - ② 東北六県商工会議所連合会との連携
 - ③ 福島県商工会議所連合会との連携
 - 2 各種経済団体・業界団体・大学等との意見交換会による政策課題の調査・研究
- 2 政策提言・要望活動の実施
 - 1 復興・再生に関する要望
 - 2 原子力災害に関する要望
 - 3 復興のための高速自動車道・幹線道路の整備促進及び建設促進要望
 - 4 復興再生に向けた健康をキーワードにしたまちづくりに関する要望
 - 5 農業分野における人材育成に関する要望
 - 6 その他必要な事項

IB 地域開発事業の推進

- 1 福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会による地域連携の促進(東北中央自動車道の建設促進)
- 2 福島西道路の南伸促進

IC 復興・再生の推進

- 1 福島市の将来を見据えた都市形成の検討
 - 1 福島市内の土地利用や都市形成に関する現状分析
- 2 視察会・交流会の実施
 - 1 部会・委員会による先進地視察会の実施

ID にぎわい・まちづくりの推進

- 1 中心市街地活性化の推進
 - 大原総合病院移転リニューアルに関する支援(県庁通り拠点施設)及び県庁通り商店街のまちづくり計画策定に向けた支援
 - 2 福島駅前通りのリニューアル支援と調査
 - 3 パセオ470の道路整備に関する意見交換会の開催
 - 4 福島市中心市街地活性化協議会の運営と基本計画の推進
 - 5 ㈱福島まちづくりセンターとの連携
- 2 街なか情報の発信
 - 1 ホームページによる「まちなかイベントカレンダー」の配信
- 3 各種イベントの実施・支援・協力
 - 1 共通商品券事業の実施(地産地消の推進)
 - ① 平成27年度地域活性化共通商品券発行等事業「笑顔満開プレミアム20」
 - 2 福島花のまちフェスティバル2015実施
 - 3 商店街元気イベントの実施
 - ① 福島ふれあい商店街朝市の開催
 - ② ハロウィン!!! 福島!!2015の開催
 - ③ 街なかバーベキューの開催
 - 4 まちなかイルミネーション事業の支援
 - 5 福島バスまつりへの協力

IE 観光・交流の推進

- 1 福島デスティネーションキャンペーン(ふくしまDC)に連動した誘客事業の実施及び支援
 - 1 優待食事券による交通媒体との連携及び市民向けクーポン券事業の実施
 - ① 優待食事券事業「2015春・ランチで食うポン」の作成・配布
 - 2 「花のまち 福島」による誘客事業の実施
 - ① 桃源郷のまちづくり推進事業の実施
 - 3 食でのおもてなしに関する関係機関との協議・要請活動の実施
 - ① 「2016ようこそふくしま うまいもの店&湯けむり紀行」の作成・配布
 - 4 福島DC お出迎え・お見送りの実施
- 2 地域資源を活用した観光素材等の情報発信
 - 1 WEB版ふくしまフォトライブラリーの充実と情報発信
 - 2 JR福島駅をはじめとした観光集客拠点と連携した観光情報の発信
- 3 観光振興によるふくしまの復興を図るための各種関連事業への協力
 - 1 広域連携による交流人口拡大への支援・協力
 - ① 東北六魂祭2015への参画
 - ② 東北復興祭りパレード in ミラノ万博への参画
 - ③ 東北6大祭りスペシャルステージへの参画
 - 4 スポーツイベントを通じた交流人口拡大への支援・協力
 - 1 福島ユナイテッドFCへの支援・協力
 - 2 あづま荒川クロスカントリー大会への運営支援
 - 3 第18回ふくしま吾妻荒川花見山ツアーデーマーチへの支援
 - 4 2015ふくしま花ウォーク大会への支援
 - 5 第13回あづまの郷ウォーク大会への支援
 - 5 物産の振興
 - 1 輪島商工会議所との合同物産展及び各地物産展への出展による物産振興と風評被害払拭
- 6 国際交流の推進
 - 1 福島台湾友好協会による交流事業の実施
 - 2 台湾経済団体との交流促進事業の実施

IF 地域の祭り・伝統文化の興隆

- 1 福島わらじまつりの実施
- 2 福島花火大会の実施協力
- 3 山車フェスティバルの実施協力
- 4 踊屋台の復活支援

施策 II

会員事業所の発展 (企業の安定・成長)

II A 小規模企業振興基本法、改正小規模支援法に対応した中 小企業経営発達支援事業の推進

- 1 経営発達支援事業（5ヵ年計画）の推進

II B 相談支援体制の充実・強化

- 1 金融に関すること
 - 1 小規模事業者経営改善資金（マルケイ資金）の利用促進
 - 2 小規模事業者経営発達支援融資事業の利用促進
 - 3 会員向け特別融資制度（メンバーズローン）の利用促進
 - 4 各種制度資金（国・県・市等）の利用促進
 - 5 金融相談会の開催
- 2 税務・経理に関すること
 - 1 記帳、決算指導及び確定申告に関する支援
 - 2 記帳の電子化に関する支援（ブルーリターンA等）
 - 3 雑損控除、消費税申告に関する支援
- 3 消費税に関すること
 - 1 消費税転嫁対策窓口相談事業の実施
 - ① 個別経営なんでも相談会の開催
 - ② 消費税転嫁対策セミナーの開催
- 4 労務に関すること
- 5 原子力損害に関すること
- 6 専門家による指導体制の充実
 - 1 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業
 - 2 嘱託専門指導員（専門指導センター）の活用
 - 3 専門家（中小企業診断士等）の個別企業への派遣指導
 - 4 弁護士、社会保険労務士等による個別相談の実施
 - 5 国際ビジネスアドバイザーによる貿易相談の実施
- 7 小規模事業者の販路拡大支援（小規模事業者持続化補助金、ものづくり・商業・サービス革新補助金）

II C 経営革新の推進

- 1 経営革新等支援機関としての経営革新支援の充実・強化
 - 1 経営革新計画策定及び認定に関する支援
 - 2 新分野進出及び事業の多角化等への支援
 - 3 経営革新に関する個別相談会の開催

II D 事業再生・事業承継の支援

- 1 事業再生に関すること
 - 1 経営安定特別相談事業による倒産防止相談の実施
 - 2 事業転換、早期撤退に関する助言
- 2 事業承継に関すること
 - 1 事業承継のマッチング等に関する支援
 - 2 事業承継に関する個別相談の実施

II E 創業の推進

- 1 創業スクールの実施（地域創業促進支援委託事業）
- 2 創業に関する個別相談の開催
 - 1 ビジネスプラン作成の支援
 - 2 開業資金の調達に関する支援

II F ビジネス拡大の推進

- 1 医産連携事業の推進
 - 1 福島市医産連携推進事業の展開と福島県立医科大学との連携
- 2 ビジネスチャンスの提供
 - 1 会員交流会・商談会の開催
 - ① 会員交流会
 - ② 新春会員交流会
 - ③ 新入会員セミナー
 - ④ アイリスオーヤマ企業見学会
 - 2 企業情報サイト「ザ・ビジネスモール」の利用促進による会員事業所の情報発信と取引拡大支援
 - 3 商取引の紹介・斡旋
 - 4 福島商工会議所「産業サポートナビ」による情報提供
 - 5 「不動産ひとくちコラム」（所報ふくしま掲載）による不動産情報の提供
 - 6 地域振興マッチング「結の場」事業
 - 7 健康経営の普及を目指した相互連携の推進
 - 8 事業継続計画（BCP）に関すること

II G 雇用対策・人材育成事業の推進

- 1 求人・求職間のミスマッチ解消に関すること
 - 1 企業の人事担当者と高等学校の就職担当者との懇談会の開催
- 2 雇用創出事業の推進
 - 1 ジョブ・カード制度（職業能力形成プログラム）推進事業の実施
 - 2 福島市雇用促進サポート事業（職場見学体験講習事業）の実施
- 3 人材育成・経営課題に関するセミナーの実施
 - 1 商売力向上対策事業「商売繁盛塾～商売の原点～みせましょう！福島商人の底力」の開催
 - 2 組織階層別セミナーの実施
 - ① 新入社員研修
 - 3 製造企業の技術力向上に関するセミナーの実施
 - ① 2015人材育成塾「県北技塾」
- 4 各種検定試験による商工技術の向上
 - 1 簿記検定試験
 - 2 国際会計検定試験（BATIC）
 - 3 販売士検定試験および販売士資格更新講習会
 - 4 珠算能力検定試験
 - 5 PC 検定試験
 - 6 福祉住環境コーディネーター検定試験
 - 7 ビジネス実務法務検定試験
 - 8 カラーコーディネーター検定試験
 - 9 環境社会検定試験（eco 検定）
 - 10 ビジネスマネジャー検定試験

総括概要

主要事業
実施概要

施策体系

I 定款・
規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業
他

VII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
及び連携

XI その他の
会議等への
参加

II H 各種調査・情報提供

- 1 登録・申請・検査業務
 - 1 公害健康被害補償業務の徴収業務の実施
 - 2 容器包装リサイクル業務の実施
 - 3 GS 1 コードの登録受付業務の実施
 - 4 貿易関係証明の発行
 - 5 放射線測定器の導入による食品スクリーニングの実施
- 2 地域経済に関する各種調査の実施
 - 1 LOBO（早期景気観測）調査
 - 2 年末年始商戦アンケート調査
 - 3 中小企業景況調査
 - 4 会員実態調査報告書の作製

II I 業種別振興事業の推進

- 1 卸商業に関すること
- 2 小売商業に関すること
- 3 工業に関すること
- 4 建設業に関すること
- 5 金融業に関すること
- 6 運輸交通業に関すること
- 7 旅館飲食業に関すること
- 8 情報文化に関すること
- 9 不動産業に関すること
- 10 庶業に関すること

II J 福利厚生の充実

- 1 生命共済、特定退職金制度、個人保険制度の普及
 - 1 生命共済制度等の普及・拡大
 - 2 共済加入者還元バスツアーの開催
 - 3 共済制度加入者懇談会の開催
- 2 会員事業所従業員の健康増進と疾病リスク対策の推進
 - 1 生活習慣病健診の実施
 - 2 健康に関するセミナーの開催
- 3 会員事業所従業員の永年勤続表彰事業の実施

施策 Ⅲ

魅力ある商工会議所 (商工会議所の活性化)

ⅢA 組織体制の強化

- 1 創立100周年記念事業実行委員会の設置
- 2 運営強化のための会議等の充実
 - 1 常議員会・議員懇話会の充実
 - 2 福島市議会議員との意見交換会の開催
 - 3 福島市農業委員会との意見交換会の開催
 - 4 他地区商工会議所の視察会の開催
 - 5 議員親睦事業の開催
 - 6 福島市新年市民交歓会の開催
- 3 部会・委員会の運営強化
- 4 女性会・青年部の運営支援と連携強化
 - 1 女性会の活動状況
 - 2 青年部の活動状況
- 5 福島県商工会議所連合会の運営
- 6 外郭団体との連携
 - 1 福島市商店街連合会
 - 2 福島市商店街連合会青年部
 - 3 福島青色申告会連合会
 - 4 福島市青色申告会
 - 5 福島県珠算連盟
 - 6 福島珠算連盟
 - 7 福島エネルギー懇談会
 - 8 東北経済連合会福島地域懇談会
 - 9 福島県警察官友の会連合会
 - 10 福島地区警察官友の会
 - 11 福島県観光土産品公正取引協議会
 - 12 福島県クリーンふくしま運動推進協議会県北地域協議会
 - 13 福島県自衛隊協力会連合会
 - 14 福島市自衛隊協力会
 - 15 福島わらじまつり実行委員会・福島夏まつり委員会
 - 16 福島リサイクル推進協議会
 - 17 ふくしま台湾友好協会

ⅢB 運営基盤の強化

- 1 議員・会員・職員による新規会員加入促進
- 2 会員事業所の巡回訪問

ⅢC 事務局機能の強化

- 1 職員の経営支援能力等の向上

ⅢD 情報収集力と発信力の強化

- 1 情報戦略の構築
 - 1 会員事業所への発信情報の研究・強化
 - 2 未加入事業所と市民への発信情報の研究・強化
 - ① 街かど情報ステーション「ほっとボックス」による情報発信
 - ② ももりんビジョンによる情報発信
 - 3 メディアへの発信情報の研究・強化
 - ① マスコミとの意見交換会の開催
 - ② ラジオによる情報発信
 - 4 コーポレートアイデンティティー計画の構築
- 2 所報ふくしまの充実
 - 1 所報ふくしまによる情報発信
 - 2 DM 配送サービスによる会員企業情報の発信（企業情報宅配便）
- 3 物産展示室における資料提供の拡充・強化
- 4 ホームページ及び ICT 環境の整備促進
- 5 オリジナルカレンダーの作成

総括概要

主要事業
実施概要

施策体系

I 定款・
規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業
他

VII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
及び連携

XI その他の
会議等への
参加